

# ちや〜も〜くろ 5分で読める 公共施設のこと

# 公共施設!

公共施設マネジメントシリーズ

公共施設および都市計画、財政、防災に関する課の職員18名で構成し、公共施設の再編について全6回にわたり、自由な発想で意見交換を行いました。

プロジェクトチームにおける意見交換の内容は、令和4～5年度にかけて策定予定の、公共施設再配置計画の検討材料の1つとして活用していきます。

問い合わせ

企画政策課 内線224



## No.12 「(続)プロジェクトチーム」「活動報告」「プロジェクトニュース」のお話

こんなことを  
行いました!

### 令和3年度のプロジェクトチーム活動報告



#### 第1回

町の公共施設の現状・課題や他市町の事例などを共有するため、勉強会を行いました。

#### 第2回

名古屋大学大学院環境学研究科の小松教授を講師に招き、公共施設マネジメントを検討する際の留意点などを学びました。



#### 小松教授からの主な留意点



- ・ お金や面積の話になりがちだが、重要なのは再編後の実態や実感。
- ・ 行政任せでなく、地域や住民任せでもなく、共創・共発的に。
- ・ コストを抑える工夫や仕組みに加えてやる気になる魅力的なモデルを考える。
- ・ これまであまり発言していない「多くの声なき声(サイレント・マジョリティ)」を大切に。

#### 第3～5回

具体的なグループワークに入り、集約されると良い機能やサービス面から、施設の複合化などを検討しました。

#### 第6回

検討した意見を発表し、チーム全体で意見交換を行った後に、小松教授から講評をいただきました。



#### 小松教授からの主な講評



- ・ 人口減少や少子高齢化など、社会的な変化を踏まえて考え、将来のイメージをすることが大切。
- ・ 人同士が交わっているのを交流だと言う人がいるが、一緒の場所(空間)に居だけでも価値がある。
- ・ 総論賛成、各論反対は日本中どこにでもある。みんなが認識しておく必要があることは「来年やる話」ということではない。少なくとも10年単位で、住民との合意形成をする必要がある。

掲載中!

#### プロジェクトニュース

町ホームページで、プロジェクトチームで検討された全6回の内容を写真やイラストを交えてわかりやすくまとめました。

